

全体	45
個別	13-01

令和2年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	教育総務課
-----	-------

区分	項目	島っこ留学制度による留学生の招致推進
1	【内容】 「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成27年11月からスタートした制度です。 複式学級の解消等も考慮し、西小校区、仁田小校区及び新たな校区での受入を推進するとともに、体験留学、広報事業の充実と里親の追加募集を行います。	
組織目標	【指標】 ○留学生招致 3名以上（小学生若しくは中学生） →体験留学（5組10名程度）を実施します。 →ホームページ・SNSに重点をおいた情報発信や広報事業を実施します。 →福岡での事業説明会を実施します。 →里親を追加募集し、受入体制の整備を行います。	
2	・西小校区1名、仁田小校区3名（うち新規1名）の里親による受入体制ができました。 ・令和2年度は10名（うち継続4名、新規6名）の留学生が就学しています。	
実績（成果）	（内訳）西部中学校 3名（2年男子2名、3年男子1名） 仁田小学校 2名（4年男子1名、5年男子1名） 仁田中学校 5名（2年男子2名、2年女子3名） 合計10名	
3	・当初2年間は受入実績がありませんでしたが、平成29年度4名、30年度7名、令和元年度6名、2年度6名の留学生を受け入れてきました。 ・体験留学は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止しました。 ・福岡事業説明会は、2家族の参加がありました。 ・事前視察は、7家族（留学希望者8名）を受け入れ、うち6名を留学生に決定しました。 ・広報・啓発事業は、専門業者と委託契約し、ホームページの運営・更新、活動写真撮影、SNS等による情報発信、チラシ作成を実施しました。	
評価	◎	
4	里親の確保が非常に困難な状況であり、受入体制の充実を図ることが急務であるため、里親の募集を行います。 SNS等インターネットを利用した広報活動や情報発信に重点をおいて展開する必要があります。 体験留学は、留学の可能性が高い希望者を選出し効果を高める必要があります。	
今後の展開		

全体	46
個別	13-02

令和2年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	学 校 教 育 課
-----	-----------

区分	項 目	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成
1	組織目標	<p>【内 容】</p> <p>【対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進】</p> <p>1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 3. 生徒指導及び特別支援教育の充実 4. 校種間連携、地域との連携の推進 5. 幼稚園・こども園教育の充実</p> <p>【指 標】</p> <p>1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成</p> <p>(1) 学校訪問時及び各種研修会における指導助言</p> <p>(2) I C Tを活用した授業支援、研修会の実施</p> <p>2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成</p> <p>(1) ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成</p> <p>(3) フッ化物洗口推進事業</p> <p>3. 生徒指導及び特別支援教育の充実</p> <p>(1) S S W及びS Cとの連携と効果的活用</p> <p>(2) 教育支援委員会の充実</p> <p>4. 校種間連携、地域との連携の推進</p> <p>(1) 中学校と高等学校の連携強化</p> <p>(2) コミュニティ・スクールの運用</p> <p>5. 幼稚園・こども園教育の充実</p> <p>(1) 特色ある園づくり</p>
2		実績（成果）
3	評価	<p>各種研修会については新型コロナウイルス感染症対策のため、中止や延期とせざるをえないものもありました。学校訪問、研究指定校事業などは、計画通りに実施し、教職員への指導や助言を通して、目標の実現に努めることができました。</p> <p>(1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や複式指導法研修会等の各種研修会を実施して教職員の指導力向上に努めることができました。</p> <p>(2) 学校訪問等の際に、道徳の授業参観や授業づくりの指導を行い、道徳教育の充実につなげることができました。</p>
4		今後の展開

全体	47
個別	13-03

令和2年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	生涯学習課
-----	-------

区分	項目	地域の特徴を活かした生涯学習の推進
1	【内容】	長崎県下の公民館関係者、社会教育関係者が一堂に会し、研究討議等を行い、新しい時代の要請に応える公民館の役割を明らかにするため、毎年県内各地を会場として、長崎県公民館大会が開催されています。 令和3年度に、長崎県公民館大会が対馬市を会場として開催されるため、大会内容の充実を図るとともに、より充実した研究討議や意見交換等が行えるよう円滑な大会運営を目指します。
組織目標	【指標】	◎円滑な大会運営を行うため、以下の事項に取り組みます。 ・現地実行委員会を立ち上げ、運営体制を整えます。 ・関係団体との日程調整を行い、より多くの参加者が獲得できる大会日程を決定します。 ・参加予定数の調査及び宿泊施設や大会関係施設の確保を行い、参加者の受入体制を整えます。
2	【達成年度】	令和3年度
実績（成果）	【今年度】	◎円滑な大会運営を行うため、下記の事項に取り組みました。 ・事務局体制の構築：長崎県公民館大会現地事務局長（生涯学習課長） ・大会日程の決定：令和3年10月14日（木）～15日（金） ・参加予定人数の決定：450人 ・大会関係施設の確保：対馬市交流センター、美津島文化会館、対馬市商工会
3	○	令和3年度長崎県公民館大会対馬市大会の開催に係る基本的事項を決定しました。
評価		
4	今後の展開	大会テーマ、分科会の構成等の詳細な事項を決定し、円滑な大会運営を目指します。

全体	48
個別	13-04

令和2年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	文化財課
-----	------

区分	項目	文化財の保存・活用
1	組織目標	<p>【内容】 対馬市内に残る各種の貴重な文化財を未来に保存・継承していくために、各専門 門家からなる委員会を開催し、今後の保存計画策定を目指します。 また、無形民俗文化財保護のための人づくり、ルールづくりに力をいれます。</p> <p>【指標】 ① 対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会を4回開催。 ② 越高遺跡調査検討委員会を2回開催。 ③ 対馬藩お船江跡総合保全検討委員会を2回開催。 ④ 年内の盆踊り保存会の結成を目指す。</p>
2	実績（成果）	<p>ほぼ予定通りの内容で委員会を終了し、次年度の概要を確認しました。</p> <p>① 対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会を5回開催しました。 （書面1回、リモート3回、対面1回）</p> <p>② 越高遺跡調査検討委員会を3回開催しました。（リモート1回、対面2回）</p> <p>③ 対馬藩お船江跡総合保全検討委員会を対面で1回開催しました。</p> <p>④ 対馬盆踊り保存連合会を結成し、総会・臨時総会を開催しました。</p>
3	評価	<p style="text-align: center;">◎</p> <p>①～③はコロナ禍の中においても予定どおり事業を遂行することができ、金石城跡及び旧金石城庭園保存活用計画も策定しました。 また、越高遺跡が県の史跡として指定されました。</p> <p>④は8月に対馬盆踊り保存連合会を結成し、3月には重要無形民俗文化財に指定されました。</p>
4	今後の展開	<p>令和3年度も引き続き事業を継続し、委員会を複数回開催して保存活用計画や保存整備計画の策定を目指します。 また、無形の民俗文化財はコロナ等の社会情勢を見極めながら、その保存と継承に取り組んでいきます。</p>